

情報をお待ちしています 秘書行革課 TEL72-0033



3月25日
タイムカプセルありがとうございます
～市内の建設会社が市立保育所に寄贈

市立保育所の卒園式が行われたこの日、市内の建設会社が卒園記念にとステンレス製のタイムカプセルを寄贈されました。

卒園式を終えた園児17名は、それぞれ宝物にしていた玩具や作文、写真などをタイムカプセルに詰め終わると、保育園の思い出と一緒にスコップなどを使って埋め込み作業を行いました。

埋められたタイムカプセルは、2019年の成人式での再会を記念して開けられるそうです。



3月28日
児童たちのため一肌脱ぎました
～枕崎川辺支部板金塗装工業組合がボランティア

枕崎川辺支部板金塗装工業組合が、ボランティアで枕崎小学校の教室の壁を塗装しました。

今年度から1年生が30学級になり、3クラスとなったことに伴い行われたもので、「児童たちにきれいな教室で勉強してほしい」と協力していただきました。塗り直した教室は、3年1組の教室に使用されます。

3月14日
おいしそうなおえんどうができました
～おえんどう品評会

おえんどうの品評会が南さつま農協枕崎支所で行われました。生産者が丹念に作り上げ、出品したおえんどうを川辺農業改良普及センター職員などが審査しました。

今年は曇天で出荷が遅れており、市内の出荷量は例年の70%ほどだということです。

審査結果は次のとおり。

【金賞】永留耕一さん(別府西町)

【銀賞】俵積田広信さん(別府東町)俵積田真司さん(別府東町)



3月18日
がん告知、輝いた時間を過ごすために
～第2回南薩地区緩和ケア・ネットワーク特別講座

南薩地区緩和ケア・ネットワーク特別講座が市民会館で開催され、医療関係者や一般の市民の方などが多数参加しました。

特別講演では、鹿児島大学病院の三木徹生医師が、がん告知について「今はいかに辛さや苦しみを分かち合うかに変換してきている。自分の病気を理解し周囲の人と支えあいながら輝いた時間を過ごしてもらうことが大事」と語られていました。

この他、医療チームの一人として患者や家族の相談に当たられている長倉伯博さんの講演や、医療、看護、患者家族の方が参加したシンポジウムを行い、それぞれの立場からがん告知に対する意見を述べ合いました。



3月2日
「二郎さんのちょっといい話」
～坂上二郎講演会

枕崎ロータリークラブと市の主催による「坂上二郎講演会」が市民会館で開催され、有名芸能人の話を聞こうと多くの市民が詰め掛けました。

講演は、生い立ちから病気のことなど、ご自分の半生をユーモアを交えながら楽しく語られました。また、歌も8曲歌われ自慢の声を披露。「飛びます飛びます」のギャグも飛び出し、客席からも笑い声上がるなど大盛況の講演会になりました。



3月4日
シイタケはこうやってつくるんだ
～桜山中シイタケ菌植え付け

桜山中学校1年生71名が、総合的な学習の一環として、市農政課や県農林水産事務所、地域老人クラブなどの指導を受けながら、シイタケ菌の植え付けを体験しました。

クヌギの原木に植え付けた菌は、2年後にシイタケになるそうです。竹山英里さんと久木田祥子さんは「私たちが卒業する頃に合わせてシイタケができるのが、今から楽しみです」と、懸命に菌を打ち込みながら話してくれました。



まちの話題

TOWN NEWS



2月25日
各学校とも持ち味を十分に発揮
第17回枕崎市表現・ダンス発表会

表現・ダンス発表会が市民会館で開催され、市内の小・中・高等学校から354名の児童生徒が出演し、創作ダンスやリズムダンスを発表しました。

各学校それぞれのテーマについて、体を思い切り使い、いきいきと表現。中でも、県学校ダンス発表会においても評価が高かった枕崎高校や枕崎中学校は、他校の模範になる表現を発表してくれました。

講師の鹿児島女子短期大学小松恵理子教授からは、「空間の使い方が上手になっていた」など、昨年以上の高い評価を受けました。



2月27日
激しく、楽しく、美しく太鼓が響く
～第5回南薩太鼓まつり

南薩の太鼓が一堂に集まる第5回南薩太鼓まつりが市民会館で開催されました。

南薩地域の9団体がそれぞれの持ち味を披露。勇壮な太鼓の演奏から、農作業の衣装を着てのユニークな演奏やソーラン節の踊りなど、様々な趣向を凝らした舞台上、満員の観客から大きな拍手が送られました。